

# 今治 いまばり

## Towel & Towelling

VOL.1  
2 FEB. '99

しまなみ海道遊遊

ゴッホも描きたかった瀬戸内海の島々

川かと思う流れの瀬戸田水道をぬけ、鼻栗水道もぬけ、ついには渦潮の来島海峡を渡る、

明治のはじめ、フランスの美術評論家が日本にやって来て、パリの雑誌に紀行文を寄せている『イマバリにて』と題し「ああ、ここに地中海がある！美しい地中海だ、ここは東洋のプロバンスにして、東洋のエーゲ海である。」と。「背の東が白みそめ、今治沖で夜があけた。伊予の今治、今治は余に忘れられぬ追憶の郷である。」大正時代、四坂島を左舷に見ながら今治沖を船で通過した時の徳富蘆花の“追憶の記”である。

今治の背の東は西日本の高峰石鎚連峰を中心とする四国山脈であり、今治の沖合いからながむれば、真正面に橋原山を中心に東三方ヶ峰、明神ヶ森、福見山、北三方ヶ峰と続く高縄山系の分水嶺が今治地方の繊維工業発展への良質の水源地をはぐくみ、若社川流域に広がる平野には、今治の町を四国88ヶ所霊場の6ヶ寺が取り囲み、又港町今治の沖合いは、来島海峡を上り、下りの行き交う船、一日に数千隻に及び、美しい船体を左右に操り動かしながら、潮流に乗って走り去る。

早坂暁は『かつて、東京の大学にいたころ、必ず夏休みには郷里に帰ったのだが、その嬉しさの一つに、尾道から今治に渡る今尾連絡船に乗る事であった』又氏は、しまなみ海道を『島かと思えば岬なり、岬かと思えば島なり』そして小さな島々には蜜柑の木々、菜の花、除虫菊の花、そして可憐な港、可憐な家々、船々、今それらの島々に橋がかけられ、車や自転車で渡りながら、浮世絵師のように瀬戸の風景を〈島の目〉と〈魚の目〉で見ることができ幸運に出会える。

今治は住む人にとっても訪れる人にとっても、人々の心と目にすばらしい海の風景とやわらかさと、心地よさを浴びられるヒーリング・スポットと申されよう。タオルの生産地今治の美しいパワーを少しばかり御紹介しました。今治のタオルは四国霊場の聖地でつくられているといっても言い過ぎではあるまい。

しまなみ海道全通記念イベント情報

①11年4月下旬～10月17日  
みなと物産館  
(今治市片原町1丁目 今治みなとイベント会場内)  
タオルその他の地場産品を販売  
お問い合わせTEL.0898-32-3337

②11年4月下旬～12年3月31日  
じばさんプラザ  
(今治市旭町2-3-21 今治市地域地場産業振興センター内)  
タオル・綿製品等の繊維製品を紹介・販売  
お問い合わせTEL.0898-32-3337

テクスポート今治イベントガイド  
(今治市東門町5-14-3 TEL.0898-23-8700)

①第2回今治タオルフェア  
11年5月15日(土)～16日(日)  
・タオルなどの物産販売

②タオルフェスティバル'99  
11年7月17日(土)～18日(日)  
・タオルと綿製品など繊維製品の展示・即売

③第3回今治タオルフェア  
11年10月9日(土)～11日(日)  
・タオルの新技術・新製品の展示商談(販売もします)

テキスタイル・レポート今治 Vol.1  
発行日/1999年2月 発行/（株）今治織維リソースセンター 〒794-0033 愛媛県今治市東門町5-14-3 テクスポート今治 TEL.0898-23-8700  
編集発行人/集積活性化委員会 委員長 宮崎 強 監修/四国タオル工業組合 デザイン/デザインナースクラブいまばり 印刷/原印刷株式会社  
本誌に関するご意見・ご要望がありあれば事務局までお寄せください。

背の東が白みそめ  
今治沖で夜があけた。

な港、可憐な家々、船々、今それらの島々に橋がかけられ、車や自転車で渡りながら、浮世絵師のように瀬戸の風景を〈島の目〉と〈魚の目〉で見ることができ幸運に出会える。

今治は住む人にとっても訪れる人にとっても、人々の心と目にすばらしい海の風景とやわらかさと、心地よさを浴びられるヒーリング・スポットと申されよう。タオルの生産地今治の美しいパワーを少しばかり御紹介しました。今治のタオルは四国霊場の聖地でつくられているといっても言い過ぎではあるまい。

しまなみ海道全通記念イベント情報

①11年4月下旬～10月17日  
みなと物産館  
(今治市片原町1丁目 今治みなとイベント会場内)  
タオルその他の地場産品を販売  
お問い合わせTEL.0898-32-3337

②11年4月下旬～12年3月31日  
じばさんプラザ  
(今治市旭町2-3-21 今治市地域地場産業振興センター内)  
タオル・綿製品等の繊維製品を紹介・販売  
お問い合わせTEL.0898-32-3337

テクスポート今治イベントガイド  
(今治市東門町5-14-3 TEL.0898-23-8700)

①第2回今治タオルフェア  
11年5月15日(土)～16日(日)  
・タオルなどの物産販売

②タオルフェスティバル'99  
11年7月17日(土)～18日(日)  
・タオルと綿製品など繊維製品の展示・即売

③第3回今治タオルフェア  
11年10月9日(土)～11日(日)  
・タオルの新技術・新製品の展示商談(販売もします)

# 阿部平助と今治タオル物語



瀬戸内の景観は《東洋の地中海》ともたえられ、そのおだやかな内海風景は旅人達の心をなごませてくれる。

四国・愛媛の地は、そうした豊かな自然の恵みを数多くうけて、歴史や文化を発展させてきた。今治は高麗半島の先端部に位置し、すぐ前には急潮が渦巻く景勝地として名高い《米島海峡》がのぞまれ、古代より海上交通の要衝としてひらがけてきた町である。

慶長五年、築城の名人といわれた藤堂高虎によつて築かれた今治城の麗美な天守閣は、遠く燧灘の沖合からもクッキリと眺められる。明治以降、今治の町は織物産地として新たな装いのもと発展してきた。

民謡「伊予節」の中にも、

「みなど今治せひみにおいて

ネルやタオルは日本一」

とうたわれているように、戦前は《伊予綿ネル》の生産地として西日本一円に知られ、戦後はタオル産地としてその名を全国にとどろかせている。

もともと、今治地方は、奈良時代の頃よ

り絶（下級紡織物）を税として納入してき

た織物の伝統がある。

江戸時代は白木綿の一大産地で、今治藩

自身が綿替商を經營していく、大阪などへ

の出荷は、藩船を使用するほどに本綿の生

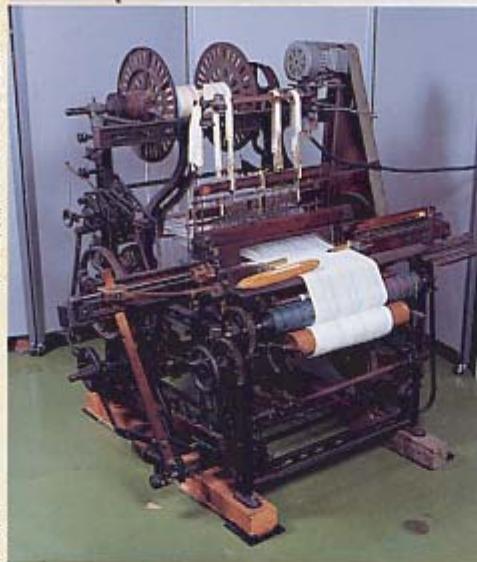
た。その時に矢野七三郎という人物があらわれ、《伊予綿ネル》を開発し、産地の苦境をすぐつた。

明治十九年のことである。

《伊予綿ネル》の開発によつて、今治の名

九世紀の初頭にフランスにおいて発案されたものが、はるかな波涛を越えて日本に伝わり、大阪の地を経て今治に根をおろした。

この地において、醸成たるタオル文化を醸成した。



質である、進取の気質」とが相まって、今治の未来が開かれた瞬間だった。

阿部平助は、すぐさまそれを行動に起こした。泉州から《手織バタ》四台を購入し、自宅近くの民家を改築して義弟と二人でタオルの試織にとりかかったのである。時に明治二十七年、平助四十二歳の師走であつた。

子供の頃より織機いじりには得手ていた。寝食を忘れ、製品の改良に没頭する毎日が

産には力を入れていた。いわゆる殖産振興の先進藩だった。

が、その白木綿も、明治十年代には近代設備をととのえた、泉州（大阪）や播州（兵庫）地方の廉価な織物におされ、注文は激減して今治の白木綿は壊滅的状況におちいつ

は全国に知れわたり、織物の町としてティク・オフを果たしたのである。

昔、インドで発祥した仏教が、数百年の後に、思つてもみなかつた遠隔の地、中国や日本で絢爛たる仏教文化の開花をみたことは周知のとおりである。タオル織物も十

かず、品質の多様さを競う時代から、もう一段高尚な栽培方法を考えねばならない時代に入つて来ているように思える。来たるべき二十一世紀には、はたしていかなる類の花が「タオル村」に咲き誇り、それが研を競つてゐるのか、今から楽しみにしている。

伸し、ついに質量ともに大坂産地を凌駕して日本一のタオル産地に成長したのだった。阿部平助がこの地にはじめてタオルの種子を蒔いた日より六十年目にして念願の日本唯一の座についたのである。

今年の五月一日に『瀬戸内しまなみ海道』は開通し、いよいよ四国も《三橋時代》に突入する。「タオル村」の花壇に、色とりどりに咲き誇った花ばなも、そのあでやか

## 阿部克行

（市民文芸誌「どんどび」代表者）

## View Point これからのタオル・マーケット

コットンファブリック・ライブラリー室長  
柳原美紗子

「私の贅沢は、毎日新しいタオルを使うこと」と言ったのは、アグネス・チャンである。でもそんなことができるのには、アグネスのようなリッチな人だけ、と思っていたが、今やもう、家族の一人一人が自分専用のタオルを持ち、使っては洗って、いつも下ろし立てのようにしておくのが、普通になった。

そんな豊かな生活の中で「タオルにもおしゃれを」「ふだん使うものだからこそ、自分に合ったものでなければいや」という女性たちが確実に増えている。これまでともすると品質ばかりに頼りがちだったタオル・マーケットも変化せざるを得ない状況にある。ここではそのポイントを二つ挙げてみよう。

一つは、トータル・コーディネーションの概念がより進んできていること。浴室、洗面などインテリアと調和する色や柄、それにイメージ、雰囲気を合わせる。特にタオルはアクセント的な小物で、色選びにはこのほか気を配る人が多い。服の着こなしと同じで、自分好みのコーディネートがなによりも優先される。

これがリゾート地への旅ともなれば、タオル製品一式を揃えたくなるのが、おしゃれな女性たちだとか。私のアシスタントも、大抵ブランド物を買い整えるので、タオルだけで一万円以上もの出費になってしまふと言う。ちなみにザ・ファッショニ・グループの調査によれば、女性たちが今一番したいことが旅行だった。旅に出れば、普段とは違う自分に変身してみたいくなる。ときにロマンティックにまたゴージャスに……。タオルにもそうした夢のあるものが望まれている。

二つには、外国経験のある女性が増えて、西洋風のタオル習慣が根づき、洋式タオルが求められていること。例えばシャワーで身体を洗うのに便利な30cm四方くらいの大きさのウォッシュタオル。欧米の一流ホテルなら大抵置いてある。この方が日本式の浴用タオルよりも使いよさそうに思える。またフランスで使われているグローブ。これは「ボディショップ」などに行くとあるが、日本ではめったに見かけない。大判のバスタオルも少ない。洗った髪を包むターバンもあるといいし、バスローブも、もっと軽くて着やすいものが欲しい。

日本にはまだまだ決まりきったものしかない、というのが実情ではないのか。個人需要がギフトを抑えて、ますます伸びる傾向にある今、「タオルの市場開拓はこれから」という気がしている。



# 私とタオル

各界でご活躍の方々に  
タオルへの想いを  
寄せていただきました。



## 今治の嬌や女タオル。

画家 智内兄助

ぼくはタオルで絵を描いている。絵の下地づくりには絶対に欠かせないと重要です。女性が化粧する時にファンデーションの乗り合いや伸び加減が絵の出来、不出来を左右してしまいます。その化粧の時のバフ（おしゃいたたき）に相当するのが下地の乗り工合の様に、絵を描く場合も下地の乗り工合です。女性が化粧する時にファンデーションの乗り合いや伸び加減が絵の出来、不出来を左右してしまいます。その化粧の時のバフ（おしゃいたたき）に相当するのが下地の乗り工合の様に、絵を描く場合も下地の乗り工合です。女性が化粧する時にファンデーションの乗り合いや伸び加減が絵の出来、不出来を左右してしまいます。その化粧の時のバフ（おしゃいたたき）に相当するのが下地の乗り工合の様に、絵を描く場合も下地の乗り工合です。女性が化粧する時にファンデーションの乗り合いや伸び加減が絵の出来、不出来を左右してしまいます。その化粧の時のバフ（おしゃいたたき）に相当するのが下地の乗り工合の様に、絵を描く場合も下地の乗り工合です。女性が化粧する時にファンデーションの乗り合いや伸び加減が絵の出来、不出来を左右してしまいます。その化粧の時のバフ（おしゃいたたき）に相当するのが下地の乗り工合の様に、絵を描く場合も下地の乗り工合です。女性が化粧する時にファンデーションの乗り合いや伸び加減が絵の出来、不出来を左右してしまいます。その化粧の時のバフ（おしゃいたたき）に相当するのが下地の乗り工合の様に、絵を描く場合も下地の乗り工合です。女性が化粧する時にファンデーションの乗り合いや伸び加減が絵の出来、不出来を左右してしまいます。その化粧の時のバフ（おしゃいたたき）に相当するのが下地の乗り工合の様に、絵を描く場合も下地の乗り工合です。女性が化粧する時にファンデーションの乗り合いや伸び加減が絵の出来、不出来を左右してしまいます。その化粧の時のバフ（おしゃいたたき）に相当するのが下地の乗り工合の様に、絵を描く場合も下地の乗り工合です。女性が化粧する時にファンデーションの乗り合いや伸び加減が絵の出来、不出来を左右してしまいます。その化粧の時のバフ（おしゃいたたき）に相当するのが下地の乗り工合の様に、絵を描く場合も下地の乗り工合です。女性が化粧する時にファンデーションの乗り合いや伸び加減が絵の出来、不出来を左右してしまいます。その化粧の時のバフ（おしゃいたたき）に相当するのが下地の乗り工合の様に、絵を描く場合も下地の乗り工合です。女性が化粧する時にファンデーションの乗り合いや伸び加減が絵の出来、不出来を左右してしまいます。その化粧の時のバフ（おしゃいたたき）に相当するのが下地の乗り工合の様に、絵を描く場合も下地の乗り工合です。女性が化粧する時にファンデーションの乗り合いや伸び加減が絵の出来、不出来を左右してしまいます。その化粧の時のバフ（おしゃいたたき）に相当するのが下地の乗り工合の様に、絵を描く場合も下地の乗り工合です。女性が化粧する時にファンデーションの乗り合いや伸び加減が絵の出来、不出来を左右してしまいます。その化粧の時のバフ（おしゃいたたき）に相当のが

工の流しまわりの上座を彼女は常にキープし続けているのです。

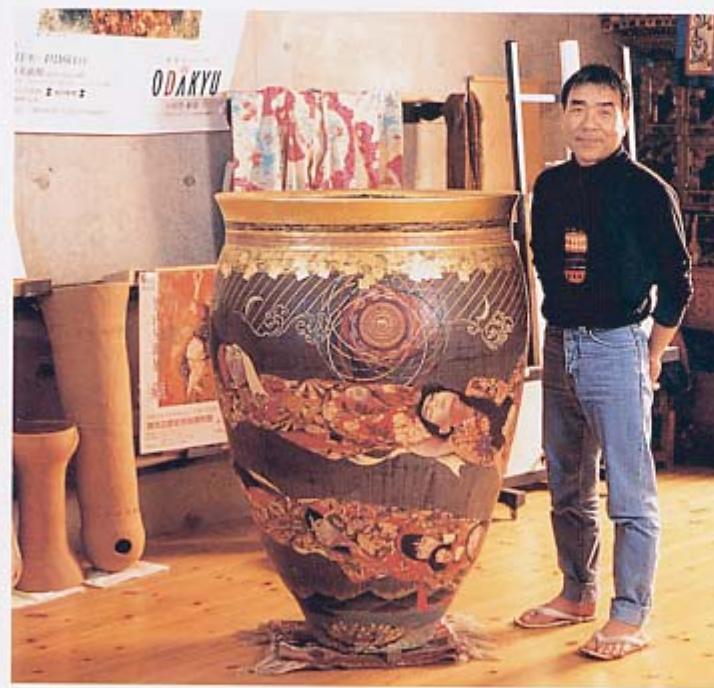
わがアトリエ社会の中では気配りのきいた、しなやかな、そしてやかな、つまり嬌やかな、お局様と呼ばれるくらいだからその彼女一朝一夕にアトリエの流れまりの上座を許された訳ではあります。

なく、長い道のりの人生があるのです。アトリエからは1km離れた自宅の風呂場でもタオルの使命としての産声をあげて毎朝毎晩ぼくの濡れた身体を拭いてくれます。

ぼくの皮膚になじみながらの幼女期から少しだけを経て、今度は床拭き雑巾としての試練の波をかぶりながらの青年期を過ごし、まだ新妻の身ゆえに絵の下地づくりはさせてもらはず、絵を描く科ベニヤのパネルについたチリやゴミを拭かされる雑役のパートタイマーとして辛い長い時間を耐えね

ぐぐつてきた50才過ぎぐらいうちからがイイ味を出すのだろうな。自分がその年になってみて初めて判るコト。やがて彼女は美しい下地を創るために毎日絵の具まみれになりながら時を重ねて、なんと

も美しい鉛色（薄墨色・濃い鼠色）に自身を染め上げてゆく。その昔鉛色の衣とは即ち喪服の事。



## タオルは自然との合作。

トランペット奏者 近藤等則



は子供時代にどんな絵本に出合ったかが問われるようになります。「生まれて一番最初にあう布」としてタオルは必ず一つと人と共に生きづけるもので、生きづける幸せな布です。

だから本当にタオルが聞きなされるときなのかも知れません。こんなにも深い結びつきがあるんですもの。うになったのも、仕方のないことといえよう。本当に気持ちのいい音楽を求める先には、自然からのインスピレーションと人間のテクノロジーの合体の世界がまちうけいたのだ。

5年前、IMBバンドを解散し一人になって、東京からアムステルダムに音樂拠点を移した。同時に、「地球を吹く」～Blow the Earth～というプロジェクトを始め、イスラエル・ネゲブ沙漠、ベルー・アンデス、沖縄・久高島、ヒマラヤ・ラダック等で電気トランペットを吹いてきた。電気トランペットというテクノロジーをもつて、大自然の悠久のバイブルーションとどう共振共鳴出来るかという作業だつた。驚いたのは、僕のラップから出て来た音が都市の中で演奏する時には考えられないような、ひろがりのあるやわらかい音だったことだった。

20世紀の人間は、都市文明におぼれ、自然との本当の気持ちのいいミックスのあり方を忘れてしまった。21世紀の音楽は自然とテクノロジーのかかわりのあり方を考えなすことからしかスタートしない、と思えるようになつた。

今治の自然環境と人間の知恵のミックスの中から、綿という素材と技術を生かした、どこまでも人をつみこみ、ひろがりのあるやわらかいタオルが生みだされ、さらに世界に擴がつてゆくことを夢見つ僕も音楽でガングバラネバと思うのです。

イ、タオルの布ずれの音など全く体にしみこませて育つてゆくのだなあと思います。もちろん生身のお母さんはかないませんがお母さんが使って育てるからこそタオルの感触は赤ちゃんじやないかと、またお母さんの思いと重なつてタオルはある日のやんにとって大きいりんじやないかと、まるで手をよみがえらせてくれるような気がします。

だから誰もがタオルを使うとき意識しなくともどこかなつかしい遠い昔のうれしい日だまりのようなここちよさを感じてしまふのではないでしょうか。思えばジャブジャブ洗つてみことなほど子育ての味方になつてくれたタオルはしっかり子供達の心に一番なつかしい布となります。

だからタオルを手にすると不思議とほつとするのでしょく。それからタオルの柔らかい肌ざわり、タオルのニオ

く  
つ  
く  
ま  
わ  
い

# こんな服が、こんなタオル生地で欲しかった。

介護体験から生まれた、  
オシャレでカラフルなタオル生地(タオリング)の  
ラクラク機能服

保温性、通気性に優れ、やわらかく、温もりのあるタオル生地(タオリング)で  
「おとしよりの生活」を「やわらかな生活」にサポートします。



●安眠マクラ

●前面開きのネマキとマフラー

## 開発された商品は

1. 上着の前身ごろを短くして、トイレ使用時に前を濡らさないためのパジャマ
  2. 着たきりの方向けに前が打ち合せ式で前面開きのネマキ
  3. お風呂上がりにポンチョのように着せてあげるワンタッチローブ
  4. 床ずれ防止と、意外に重く力が要る作業を補助する介助マット
  5. タオルで作った袋にビーズを入れ、自分の体に合った高さに調節できる安眠マクラ
  6. 保温性に優れ体にやさしいタオルで作った、ひざあったかとひじあったか
- 商品のお問合せは(株)今治織機リソースセンター TEL.0898-23-8700



四国タオル工業組合

## 来場者の声

「これから社会は老人の数が非常に増え、介護されたり、する人が多くなると思います。タオル地の肌触りは独自の「ほつ」とせる、いやの要素を持つ貴重な素材だと思うので、その素材の良さを充分に生かした、おもしろいための商品開発は大きな可能性があると思います。」

メイカー勤務 女性 24才

四国タオル工業組合では、介護を実験された京都在住のデザイナー3名とのタイアップと(財)今治社会福祉協議会の多數関係者のご協力を得て、体に心地よいタオル生地(タオリング)と呼んでいます)を使ったハイエイジウエアなど、11点を企画開発しました。

介護の機能性を持ったパジャマ、ネマキ、安眠マクラなどは、今治市内の老人福祉施設でモニタリングを行い、ヘルパーの皆さんにもタオル地を使つた介護用品に高い期待を寄せて頂き、また地場産業であるということで積極的なご協力を頂きました。ジャパンクエーション'99にも出し、来場者からの力強いメッセージに、改めてタオルの持つ心と体にやさしいパワーに驚いています。

# タオルでひとやすみ 海外の暮らし――①フランス篇

日本民族は、すばらしい染織文化と豊かな織物風土を有し、その遺伝子はタオルにも引き継がれ、タオルにおいては今治ブランドが世界にその名を築こうとしています。

人間にも、植物、生物にも「男性」「女性」の区別がある如く、クレープ、ギンガム、ニット、デニム、そしてタオルと多くの織物の中で「タオル」にも「男性」か

「女性」かと云う性別判断がありそうですね。一緒に考えてみましょう。

文学の世界からタオルを覗いてみると、平成の与謝野晶子と云われる俵万智さんの歌に「一枚のタオルケットを分けあればつぼみの中の離しへになった」とあります。若いカップルが一枚のタオルケットを取り合っているうちにタオルケットにくるまれて男女一体になるさまが歌われています。また「湯上がりの君にタオルを投げやれば

笑顔のような盲腸のあと」と云う歌でも、君とは男性で、風呂から上がったもののタオルが無く、相手の女性がわたくしだが、タオルと云う布が愛の道具になったり、二人の親密な関係を表現する自然な行為になつたりしています。

この二句から、タオルはやや女らしい匂いを感じませんか。

また、工学的視点から見ますと、強くて張力を有する男糸(下経糸)の上に、柔らかい甘い女糸(上経糸)が乗り、仲良く一緒に寄り添つて一つの部屋に成まり、女糸が何本かの子供糸(緯糸)につかまって、まるで波打ち際に潮が打ち上げられる如く、女糸がそり上がってバイル(輪奈)をつくる。この女糸によるバイルの連続がタオルであります。

ですから、タオルの風合いは、母親の深くてやさしい愛情に包まれたものになるのでしょうか。

俵万智さんの文学やタオル工学からみて、タオルは毎日拭き続けると云う働き人であると同時にその内には女性的なやさしさを含んだエコロジストであると申されよう。

タオルは女性でしょうか男性でしょうか。みなさんはいかがご判断されますでしょうか。

四国タオル工業組合  
集積活性化委員長  
宮崎 弦

タオルになつたクマやウサギのぬいぐるみを大事にかかえた子供。パリの街角でよく見かける光景である。外出掛ける時もネムネムさんのもいつも一緒のぬいぐるみは、子供にとつけるのだった。洗濯してきれいになつたタオ

ルはなぜか自分の物ではないような気がして、本当はタオルになつて洗つてないものが好きだったことを思い出す。

パリには子供のための雑貨屋さんがたくさん



あつて、タオル地でできた小さなぬいぐるみが必ず置いてある。日本で売つているバステルカラーのいかにもベビー用の物ではなく、ベージュのタオル地に赤やブルーの服を着たブックブック

物も色別にディスプレイしている。彼女のバスルームは、その色から感じる甘いムードで胸が一派になる。ピンクでまとめた石鹼の数々と小さな香水瓶、そしてピンクからバーブル系

の可愛らしいぬいぐるみ達。これらが子供達のものになつていく。こういった意味でタオルは使っていくにしたがつて人間の手になじみ、その人の物になるよう

な気がする。

あるフラン

ス人のお宅では寝室と居間をブ

ルー系に、キッチンは

そのままのタオル地でできた小さなぬいぐるみ達。これらが子供達のものになつていく。こういった意味でタオルが花柄ではなく、無地なのになぜか花のようないメージを表現している。

パリでは花柄のファンシーナタオルを見かけた事は少ない。季節によつてミモザのワンポイントやクリスマスのモチーフが付いている程度である。ベージュ系でナチュラルに、白黒でモダンに、ブルー系でフレッシュになど皆それぞれに「色」を楽しんでいる。

又日本の手ぬぐいのようなうす手の長いタオルも存在しない。身体を洗う時に使うのは、GANT(手袋)と呼ばれる袋状になつた小さなタオルである。ほとんどがシャワーでハスターにつかる習慣がないのも又お国の違いである。

でも気候や文化の違いがバスルームのシンクも変えてしまう事はあっても、それぞがタオルに愛着を持ち、その人のものになつてることに変わりはない。